

平成22年4月期 第2四半期決算短信

平成21年12月8日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド
 コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成21年12月15日

上場取引所 東大

(氏名) 岩田 弘三
 (氏名) 伊澤 修
 配当支払開始予定日

TEL 078-435-2800
 平成22年1月18日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第2四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第2四半期	22,347	△5.2	788	0.5	804	0.6	351	△13.0
21年4月期第2四半期	23,570	—	784	—	799	—	403	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第2四半期	26.47	—
21年4月期第2四半期	30.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第2四半期	26,680	20,583	77.2	1,549.85
21年4月期	26,351	20,521	77.9	1,545.17

(参考) 自己資本 22年4月期第2四半期 20,583百万円 21年4月期 20,521百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
22年4月期	—	12.00	—	—	—
22年4月期 (予想)	—	—	—	18.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,810	△3.0	1,892	1.8	1,905	1.6	901	△15.2	67.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第2四半期	13,394,374株	21年4月期	13,394,374株
② 期末自己株式数	22年4月期第2四半期	113,105株	21年4月期	113,021株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年4月期第2四半期	13,281,289株	21年4月期第2四半期	13,281,502株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済対策の効果により、景気後退局面からの回復の兆しが見え始めたものの、企業収益の低迷や改善しない雇用環境による個人消費の低迷が続く等、依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

食品業界におきましては、依然として食に対する安心・安全が求められる一方で、低価格競争の激化、雇用や所得環境の悪化傾向等の影響による生活防衛の意識の高まりにより、厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況の中、当社グループは食の安心と安全への取組みの強化とお客様のニーズを捉えた高品質で付加価値の高い商品の開発・提供、サービスの向上に継続して取り組んでまいりました。さらに計画的購買による原材料の安定的な確保や販売費及び一般管理費における経費のコントロール等による利益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は22,347百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益788百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益804百万円（前年同期比0.6%増）、四半期純利益は351百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、定番商品の品質向上に継続して取り組み、安心・安全を求めるお客様の信頼に応えるような新商品の開発、こだわり素材を使った商品の展開を行う等、付加価値の高い商品の提供を行ってまいりました。また、当社の強みを活かして他ブランドの商品を用いた商品ミックスを行う等、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。その結果、売上高は17,056百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、平成元年の第1号店のオープンから20周年となる感謝の気持ちを込めた「20周年アニバーサリーコロッケ」やおつまみとして利用していただける「ミニコロッケ」を展開する等、お客様に継続したご愛顧をいただけるような品揃えを行ってまいりました。その結果、売上高は1,948百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「健康バランス30品目」、「静岡県産クレソン&フルーツ」等、野菜の素材とフルーツを組み合わせて飲みやすくしたジュース等を提案するとともに、夏場における冷製スープも継続した提案を行い、売上高は943百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成22年4月期 第2四半期		平成21年4月期 第2四半期		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1	サラダ	9,574	42.8	9,294	39.4	103.0
	フライ	3,251	14.6	4,222	17.9	77.0
	その他そうざい	4,230	18.9	3,903	16.6	108.4
	小計	17,056	76.3	17,420	73.9	97.9
神戸コロッケ		1,948	8.7	2,058	8.7	94.7
いとはん・三日坊主		968	4.3	891	3.8	108.7
RF1 Asia・融合		518	2.3	546	2.3	94.8
そうざいや 地球健康家族	そうざい	531	2.4	917	3.9	57.9
	弁当・米飯	282	1.3	420	1.8	67.2
	小計	814	3.7	1,338	5.7	60.8
ベジテリア		943	4.2	1,039	4.4	90.8
その他		97	0.5	276	1.2	35.3
合計		22,347	100.0	23,570	100.0	94.8

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて329百万円増加し26,680百万円となりました。これは、減価償却費等により有形固定資産が270百万円減少したものの、現金及び預金が319百万円増加したこと、売掛金が233百万円増加したこと等によるものであります。

一方、負債においては、前連結会計年度末に比べて267百万円増加し、6,096百万円となりました。これは、主に長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）の返済414百万円や、給与支給日変更に伴う未払給与の増加等によるものであります。

純資産においては、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、20,583百万円となりました。この結果、自己資本比率は77.2%、1株当たり純資産は1,549円85銭となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて299百万円増加し、6,455百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,504百万円（前年同期比は721百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が675百万円（前年同期比96百万円の減少）であったこと、売上債権の増加が232百万円（前年同期比232百万円の増加）であったこと、法人税等の支払額が353百万円（前年同期比278百万円の減少）であったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は464百万円（前年同期比849百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が281百万円（前年同期比927百万円の減少）となったこと、差入保証金の差入が136百万円（前年同期比118百万円の増加）であったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、740百万円（前年同期比63百万円の増加）となりました。これは、主に長期借入金の約定弁済414百万円、配当金の支払額292百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月期第2四半期累計期間における連結業績につきましては、前連結会計期間から続く個人消費の減退により、売上高は想定を下回る状況にて推移いたしました。しかしながら、原材料価格が期間を通じて安定していたことや販売費及び一般管理費において経費のコントロールを徹底したこと等により、利益が前回発表を上回る見込みとなったため、平成21年12月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、以下の通り修正しております。

通期連結業績予想につきましては、ドバイショックやデフレ宣言等、景気の先行きの不透明感や個人消費の一層の減退等、経営に対しては厳しい環境が予想されておりますが、クリスマス等、年末年始における当社商品の売上動向は昨年並みであると判断しており、また、原材料は価格・量ともに今後も安定供給され、経費のコントロールは継続的に行えることから、第3四半期及び第4四半期期間における業績は当初の想定どおりに推移するものと予想しており、店舗退店等での特別損失の見込みが増加するものの第2四半期累計期間における売上・利益の増減が当初の通期予想に反映するものと判断いたしております。

連結業績予想（平成21年5月1日～平成22年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 46,291	百万円 1,704	百万円 1,696	百万円 854	円 銭 64.33
今回修正予想（B）	45,810	1,892	1,905	901	67.90
増減額（B－A）	△481	188	209	47	－
増減率（％）	△1.0	11.0	12.4	5.6	－
（ご参考）前期実績 （平成21年4月期）	47,243	1,859	1,875	1,063	80.11

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書の表示方法の変更）

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「未払費用の増減額」は重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「未払費用の増減額」は8百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,575	6,256
売掛金	3,458	3,225
製品	54	56
仕掛品	73	56
原材料及び貯蔵品	160	167
その他	522	550
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,843	10,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,714	8,987
機械装置及び運搬具（純額）	566	598
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	19	2
その他（純額）	788	769
有形固定資産合計	13,091	13,361
無形固定資産	237	245
投資その他の資産		
投資有価証券	344	350
差入保証金	664	534
長期預金	900	900
繰延税金資産	153	108
その他	455	548
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,508	2,433
固定資産合計	15,837	16,040
資産合計	26,680	26,351

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,107	1,137
1年内返済予定の長期借入金	474	673
未払法人税等	415	392
賞与引当金	567	539
未払費用	1,325	836
その他	1,050	895
流動負債合計	4,939	4,474
固定負債		
長期借入金	986	1,201
その他	170	152
固定負債合計	1,157	1,354
負債合計	6,096	5,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	9,405	9,345
自己株式	△208	△208
株主資本合計	20,601	20,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	△20
評価・換算差額等合計	△17	△20
純資産合計	20,583	20,521
負債純資産合計	26,680	26,351

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
売上高	23,570	22,347
売上原価	10,428	9,689
売上総利益	13,141	12,658
販売費及び一般管理費	12,357	11,870
営業利益	784	788
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	2	1
保険配当金	7	9
その他	13	12
営業外収益合計	25	27
営業外費用		
支払利息	8	10
その他	2	0
営業外費用合計	10	11
経常利益	799	804
特別利益		
過年度損益修正益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	27	21
店舗閉鎖損失	—	22
投資有価証券評価損	—	14
出資金評価損	—	70
特別損失合計	27	130
税金等調整前四半期純利益	772	675
法人税等	368	324
四半期純利益	403	351

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	772	675
減価償却費	703	690
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△74	27
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	8	10
固定資産除却損	27	21
店舗閉鎖損失	—	22
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	14
出資金評価損	—	70
売上債権の増減額 (△は増加)	△0	△232
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20	△8
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	△29
未払費用の増減額 (△は減少)	—	488
その他	△22	115
小計	1,418	1,863
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△8	△10
法人税等の支払額	△631	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	782	1,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△20
有形固定資産の取得による支出	△1,209	△281
有形固定資産の売却による収入	20	1
無形固定資産の取得による支出	△22	△44
投資有価証券の取得による支出	△14	△6
長期前払費用の取得による支出	△79	△34
差入保証金の回収による収入	28	58
差入保証金の差入による支出	△18	△136
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△375	△414
リース債務の返済による支出	△9	△34
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△292	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677	△740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,211	299

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	6,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,847	6,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年10月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年10月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年10月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年10月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年10月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年5月1日 至平成21年10月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。